

ご苦労さまでした 前町長 稲橋正兵衛氏



平成12年4月に町長に当選以来、1期4年間町政の運営に取り組んでこられた稲橋正兵衛町長が、5月13日に任期満了で退任されました。

この間、ふれあい活動センター「ゆめくる」のオープン、観光協会の設立支援、町内循環バス「いなまる」の運行、東農面道路の拡幅、太陽光発電システム設置補助制度の導入、平和都市宣言（仮称）小針北小学校の用地取得、地元主導型ショッピングセンター実現のための商業施設誘導基本調査の実施など数々の事業に尽力されました。

新町長に野川和好氏当選

任期満了(5月13日)に伴う町長選挙が4月20日に告示され、4氏が立候補し、4月25日に投票が行われました。

即日開票の結果、野川和好氏の当選が決まりました。

当 野川 和好 (56歳)	4,442票
稲橋正兵衛 (66歳)	3,907票
長谷場 優 (49歳)	2,989票
大塚 怡子 (72歳)	2,931票

有効投票	14,269票
無効投票数	199票
不受理・持帰り	なし
投票総数	14,468票
投票率	52.76%(有権者数 27,422人)

の調節池の利活用につきましても、住民の方々の意見をお聞きしながら関係機関に要請してまいりたいと考えております。都市的機能としましては、生活者の利便性を高めるため、多様化するニーズに応えられるようなショッピングセンターの整備を推進してまいりたいと考えております。

さらにニューシャトルの増発や通勤・通学定期の割引率の引き上げを強く求め、便利で利用しやすい、名実ともに町民の足となるニューシャトルを目指してまいります。豊かな自然と都市的機能が調和し

た住環境ナンバーワンを目指します。

五つ目が「無駄をなくそう」です。今、どこの市町村も財政がひっ迫し、大変な時代になっております。伊奈町も例外ではなく大変厳しい状況です。私自身の給料、賞与、退職金の20%カットについては、早急に作業を進めてまいります。町長の公用車については、専用ということではなく、共用車ということとし、効率的、弾力的な利用を図ります。また、いろいろな調査業務を外部委託しておりますが、職員で対応できるものはないかな

男女共同参画 社会をめざして



県では、全国に先駆けて男女共同参画推進条例を制定しました。男女がその個性と能

ど、見直しを行ない効率の良い行政運営に努めます。

六つ目が、まちの元気です。地元産業の振興に努めるとともに伊奈で事業を起こし、伊奈で新たな雇用の場をつくる、やる気のある経営者をサポートしたいと考えております。

以上の六つの政策を基本とし、3万5千有余の町民の皆様方の声をしっかりと受け止め、安心・安全なまちづくり」に全力を傾注する所存でございますので、皆様一人ひとりのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

力を発揮し、あらゆる分野に対等に参画できる男女共同参画社会。その実現のためには特に雇用の分野での取組みが重要です。

県では、女性の能力活用や仕事と家庭の両立支援など、男女が共同して参画することのできる職場づくりに取り組み、従業員がいきいきと働いている事業所を「男女共同参画推進事業所」として表彰していきます。

働きやすく、働きがいのある職場をご紹介ください。

詳しくは、町人権推進課 2219へ



誰もが 安心して安全に 暮らせるまちづくり

野川 和好町長の略歴

平成4年4月から平成12年3月まで、町議会議員を務め、この間文教民生常任委員長、町民体育館建設特別委員会副委員長などを歴任。その他伊奈町商工会会長や埼玉県商工会青年部連合会会長などを務め、平成16年4月町長に初当選。 大字羽貫1014番地在住 56歳

この度の町長選挙におきまして、伊奈町政の執行責任者として当選させていただきました野川和好でございます。着任にあたり町民の皆様一言ごあいさつを申し上げます。私は、住民のみなさんと一体となつて「活力ある」そして「躍進する」伊奈町を築いてまいりたいと考えております。誰もが安心して安全に暮せる町づくりを目指し、「埼玉県一の安心・安全なまち」を政策スローガンとし、次の六つの政策を中心に取り組んでまいります。

一つ目が「情報公開、住民参加の推進」です。みなさんに町政をよく知っていただき、町政に参加していただくことが必要だと思っております。そこで、町が実施しようとする政策については情報を公開し、みなさんの意見や考え方を

が反映できるような仕組みを作りたいと考えております。また、町長の日程や交際費の使い方などを明らかにし、ガラス張りでの透明度ナンバーワンの町政にしたいと考えております。

二つ目が「住民主体の合併の推進」です。私自身、合併については、基本的に賛成であり推進してまいりたいと考えております。特に、合併を進める過程を大事にし、合併に関する情報を公開していきます。これまでも「広報いな」でみなさんに情報提供されてきたところですが、町民のみなさんに充分理解していただいているか憂慮しております。例えば、合併なくして伊奈町は財政的に自立していけるのか。また、合併した場合、税金の問題をはじめ身近な日常生活への影響はどうなるのかなどを、より具体的に分かりやすくお知らせする必要がありますと考えています。みなさんの理解と納得のもとに、合併を進めてまいります。

三つ目が「安心・安全なまちづくりの推進」です。埼玉県内で「ひったくり、路上強盗、空巢」この三つの犯罪だけで、毎日、100件近く発生しております。こうした犯

罪は、もはや他人事ではなく、いつ被害にあつても、おかしくない時代になっていきます。町民のみなさんを犯罪から守るため、町としてできる防犯対策はすぐに実行するとともに、警察・町・町民が一体となった防犯システムを構築したいと考えております。防犯関係以外では、教育現場におけるいじめや校内暴力の根絶、通学路の総点検、日本一安全な学校給食の実現を目指します。また、赤ちゃんを育てるお母さんが安心して子育てができるよう、乳幼児の救急医療体制を確立します。さらに、介護を受けるお年寄りも介護をするご家族の方も安心できるようにデイサービス、ショートステイ、ホームヘルパーなど在宅福祉サービスのさらなる充実を図ってまいります。

四つ目が「住環境の整備・推進」です。私は、伊奈町を豊かな自然に恵まれた町であると同時に、都市的な利便性にも優れた町づくりを進めたいと考えております。屋敷林などの保護をはじめ、他の自治体等の協力と時間が必要ですが、綾瀬川を浄化し子供たちが水遊びのできる川にしたいと考えております。また南部地区にございます原市沼川